



- ◇特集 「図書館で発表会」
- ◇Report 講演会「左京区歴史散歩」
- ◇Topics宇治市図書館友の会との交流会

特集 図書館をもっと身近に！ けやきと左京図書館の取り組み

「図書館で発表会」図書館のおかげでこんなことができました



今年度、けやきでは公共図書館の存在の大切さを認識し、広くアピールすることをテーマに活動してきました。その実践の一つとして、「図書館で発表会」というアイデアが事務局会議で生まれ、早速実行に移しました。図書館を活用して生まれた作品や利用して助かったことなどを披露してもらおうという企画です。

昨秋から左京図書館の協力を得て準備を始め、作品を募集、2011年2月19日～28日に左京図書館で展示しました。初の試みである「図書館で発表会」。展示に至るまでの経緯を紹介します。また集まった作品をヒントに、生活の様々なシーンで図書館を活用する方が増えればと思います。

日々の暮らしに図書館は役立たない？

前号のニュースレターの特集は、「国民読書年の京都市図書館の取り組み」でした。その中で、「図書館は私たちが暮らしていくうえでなくてはならない施設」のはずなのに、京都市では図書館利用者（利用登録者）が約26パーセント。多くの人に図書館を身近に感じ、利用してもらうにはどうしたらいいでしょうか、という問題提示がありました。

日々の暮らしに図書館は役に立たないのでしょうか。

- ・本（文学）は読まないから、図書館は関係ない。
- 図書館には文学以外の本がたくさんあります。雑誌も、CD/DVDもあります。
- ・図書館へ行っても自分が知りたいと思う本がどこにあるかわからない、探すのが大変。

→そのために司書の方がいます。尋ねてみて下さい。

・時間がない

→図書館は日曜日、祝日も開いています。左京図書館は平日は7時30分まで開いています。図書館で時間の上手な使い方の本を探すこともできます。

図書館活用術を

そこで、左京図書館を利用している方に、図書館活用術を教えてくださいと企画したのが『図書館で発表会』です。12月中旬に「図書館利用によってこんなことができましたということを発表しませんか」というお誘いのチラシを作り、図書館に置いてもらったり、大きくコピーしてポスターにしてもらったりして、募集しました。図書館内の壁面に展示するので、平面に貼ることのできる実物または写真と、参考にした図書館の資料「本の題名・著者・出版社など」を紹介してもらうことにし

## ■ 寄せられた作品から



### 野の道便り

あるカルチャー教室主催「野の道を歩く」という野外講座があります。友人が入院したため、ひとり参加することになり、友人へのお見舞い便りとして描き始めました。

豊かな里山をあるく幸せ。その日出会った植物や鳥や虫たちのことを、図書館で調べる喜び。「野の道便り」を待ってくれる友人の笑顔。描くことで、野歩きの楽しさが何倍にもなって、幸せな時間でした。(今江京子)

ました。初めての試みで、果たしてこの企画に関心をもってもらえるか、心配しましたが、8点の応募があり、2月19日～28日まで館内で展示発表にこぎ着けることができました。図書館は参考図書に「この本は借りることができます」というシールを付けてテーブルの上に用意してくださいました。

### 集まった作品 図書館への思い

今回展示発表してもらったものは次の8点です。作品のタイトルと共に出品された方からのメッセージを紹介します。

『妖怪きりがみ』左京図書館に司書さんのつくった“いったんもめん”が展示してあり、すてきだったので、自分でも作ってみたいと思いました。

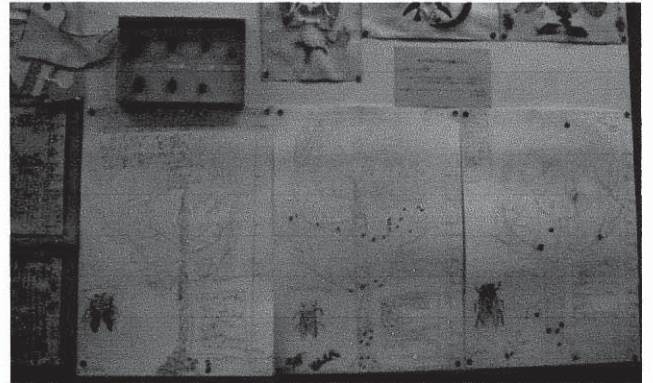
『野鳥新聞』ニュースにのっていた鳥のことを調べたり、本で読んだ鳥のことを紹介しました。

『せみのぬけがらの位置調べ』夏休みの自由研究です。

『人形劇「ちいさなあかいめんどり」の人形・背景・小道具』文庫のお楽しみ会で演じるために小学生たちが作りました。

### せみのぬけがらの位置調べ

『セミのおきみやげ』という科学絵本を参考に「セミのぬけがらのたかさしらべ」をしました。ぬけがらを集めて本と見比べると、種類によって形が違うのがはっきりわかりました。猛暑の夏、子どもの自由研究に同行するのはかなりきつかったのですが、ひとつ、見たこともない小さくて細長いぬけがらを草葉の裏で見つけ、それがツクツクボウシだとわかった時は、宝ものでも見つけたように喜んでいる私でした。(松田公江)



『おかあさんがヘアデザイナー』図書館の本を参考に七・五・三のヘアアレンジをしました。

『野の道便り』散策したコースとそこで出会った植物たちを調べました。

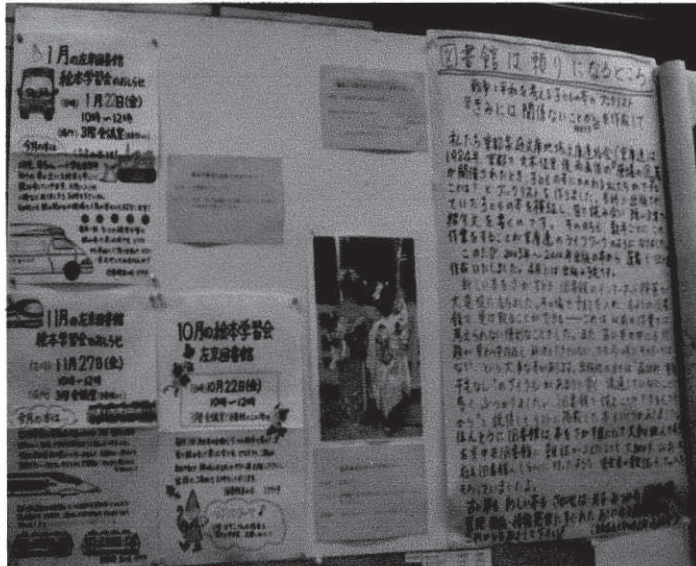
『「戦争と平和の本のリスト」を作りました』探している本を検索し、他館の本も予約して借りることができたり、古い本・廃刊になった本も図書館には置いてあったりして、とても助かりました。

『絵本学習会のお知らせポスター』図書館の本を使って、テーマや作者別の読書会を開いています。

出品者は小学2年生から大人の方まで。参考にされた本のジャンルも様々で、バラエティーに富んだ展示になりました。思わず参考図書を手にとり、私もしてみたくなりました。

市民一人一人が、知りたい、人生を豊かにしたい、楽しみたい、そんな思いを持って図書館へ足を運んでいただけたらいいなあと思います。どうぞ、まわりの方へ「図書館へ行きませんか」と声をかけてみてください。

(田中)



「戦争と平和の本のリスト」を作りました

「図書館を利用してこんなことができました」の募集があった時、これはぜひ発表しておかなくては、と思いました。

私たち京庫連（京都家庭文庫地域文庫連絡会）はかれこれ25年にわたって出版されている子どもの本から“戦争を伝える本、平和について考える本”を選書し、みんなで読み合い、数年毎にリストにまとめることを続けてきました。次々出版される本を読むことから始まりますが、すべてを買うわけにはいきません。それに児童書は発行部数も少なくすぐに品切れ絶版となり、人の目に触れる前に店頭からも記憶からも消えてしまうことが多いのです。そういう点、ほんとに図書館は何よりも頼りになります。今回03～10年の本について調べ、ようやくブックリストにまとめることができました。図書館あってこそです。

（後藤由美子）



作品の関連本の展示



「妖怪きりがみ」

けやきの活動 10年12月～11年3月

2010	1/21 宇治市図書館友の会と交流会	・1/22,2/26, (第4土曜)
10/上旬～	講演会準備 「図書館で発表会」準備	(於; 宇治市中央図書館) 図書館おたのしみ会に協力
11/上旬～	冬のスペシャルお楽しみ会準備	2/10 左京区ボランティアグループ連絡会・12/10.1/28.2/25. 3/11 に出席 (増井) (第4金曜日。3.7.12月は第2)
11/29	ニュースレターNo.34 印刷発送	2/16 「えほんのひろばinきょうと」打ち 絵本学習会
	講演会・「図書館で発表会」	合わせ
	の案内チラシ・印刷発送	2/19 「図書館で発表会」展示作業
12/5	京都市子ども文庫連絡会・左京図書館	2/19～28 「図書館で発表会」 (毎週木曜10:30～12:00)
	共催「右手和子さんの紙芝居の会」	3/2 「図書館で発表会」後片付け 絵本コーナーで「あかちゃんに
	協力	3/16 「えほんのひろばinきょうと」追加 絵本を」サポーター活動
12/18	冬のスペシャルお楽しみ会	本検討会
2011	3/24 ニュースレターNo.35 印刷発送	・12/6.1/7.2/7.3/7 (第1月曜が基本)
1/上旬～	ニュースレターNo.35編集	左京図書館子ども読書の日記念事業
1/15	原田敬一氏講演会	チラシ印刷

けやき・左京図書館共催

## 原田敬一氏 講演会「左京区歴史散歩—近現代の史跡を訪ねて—」

2011年1月15日

けやきでは、2003年以来会が主催・企画して左京図書館と共催し数々の講演会を開いてきました。それらの講演会では、自然科学分野や子どもの本、アジアやアフリカのこと等広範囲に渡って先生方から貴重なお話をお聞きすることが出来ました。これまでも利用者の関心が高い歴史分野の講演会もぜひとも、と思いつつながら、なかなかそのチャンスが巡ってきませんでした。

そしてようやく今年度、佛教大学歴史学部教授原田敬一先生を講師にお迎えし、「左京区歴史散歩～近現代の史跡を訪ねて」と題してお話いただくことができました。昨今、巷は歴史ブームとか。しかし関心はもっぱら古代や幕末に偏っていて、明治・大正・昭和期に関しては中学・高校でもじっくり学ばないまま歴史の学習を終えているように思います。「私たちのすぐ近くにある身近な史跡を手がかりに、左京区の近現代の史跡見学会にも参加されておられる原田先生の専門的かつ解りやすいお話を手引きとして、ご一緒に学び考えませんか」と呼びかけたところ、予想通り、いやそれ以上の反響があり、70名を越える参加者で会場は満杯でした。

講演は、資料の地図を示して、今の「左京区」の地域は1900年代初めでも鴨東地区に人家が建て込んでいる以外ほとんどの地域は田畑と農家ばかりであったという話から始まりました。次に近現代の代表的な史跡は小学校で、それは地域の大きな財産・地縁の核となるものであったということです。特に京都では学区制以前(1969年)に65の番組小学校が開校し、強固な学区制度の下で、いっそう強い核となりました。

さらに、「左京区の近現代の史跡」を三つの時期に分けて考え、時代を追って紹介していただきました。第1期は「幕末・維新の道—隠棲と伏流—」として明治天皇の胞衣塚、吉田松陰詩碑、尊攘堂(京大構内)、岩倉具視幽棲旧宅、会津藩墓地(黒谷金戒光明寺墓地)、など。次の第2期は「開化と開発の道—岡崎地区の再開発—」とまとめられる史跡群で、1909年開館の府立図書館や1890年竣工の琵琶湖疏水の関連史跡やその疏水を利用して建設された南禅寺周辺の別荘群、平安神宮、動物園、岡崎公園・岡崎勸業館、など。そして第3期「戦争と平和の道」の史跡として

は、征清九烈士の碑(若王子神社)、1922年全国水平社創立大会が開かれた京都市公会堂(現京都会館、1917年完成)、叡山電車の二軒茶屋—市原間がかつて複線であった時の跡(1939年宝ヶ池—市原間の複線を戦時の鉄材供出で一時的単線化)など。それぞれの史跡にまつわる興味深いお話を伺ううちにあつという間に時間が過ぎ、参加者の感想には「ぜひ、この続きを」「再度聴きたい」という声が多数ありました。(永井)

## 講演会を終えて

当日、雪が降るかもしれないと言う予報が出ているにもかかわらず、開始予定の30分以上前から既にスタッフと同じ程の数の方々が原田敬一氏の講演を聞きに集まって来られていました。間もなく原田氏が当日のレジメを持参で来場され、私達はそれをセットに組んで来場者に渡して回りましたが、2人でやっても追いつかない程次々と集まって来られる状況にスタッフも大慌て。原田氏が用意して下さった部数では足りず、増刷をする事態に嬉しい悲鳴を上げた一日でした。

講演の内容は教科書的なものから離れて、あまり広くは知られていないことや、身近な場所で過去に起きた事を具体的に話して下さり、時の経つのも忘れ、講演後の質問も次々と出てくる、活気にあふれた雰囲気の中に終わりました。

昔の地図も2枚用意して下さったので(1903年1933年)、当日資料として使うだけでなく、家に帰ってから、現在自分が住んでいる場所は昔どうなっていたのかなど様々に想像を巡らせる事ができて、大いに好奇心が満たされました。

今回の参加者は、左京区に生まれ育って80余年と言う方など年齢的に高い傾向がありました。寒い中、会場へ足を運んで下さったその方達のエネルギーから私達も刺激を受け、次回への励みを頂いた様に思います。そのエネルギーの源には、自分が生きて来た地域とその時代がテーマだったと言うのもあるかもしれません。しかし、歴史とは過去だけのものではなく、未来へつながる過程であると言う事を考えると、これからの世の中を背負って立つ若い人達にも聞いて欲しかったと思います。(増井)

宇治市図書館友の会との交流会

1月21日

宇治市図書館友の会からけやきとの交流を、と声を掛けて頂き、永井、伊藤、北園、島崎の4名が宇治市中央図書館集会所で開催された交流会に出席、宇治からは前川会長はじめ15名（内、図書館から細川中央館長と嶋田係長）の方々が参加されました。

宇治市図書館友の会は2008年設立。市民みんなの図書館として図書館を支え育んで行こうという思いで活動されています。そもそも宇治市では1965年に市民会館図書室ができ、読書クラブ協議会が結成され、自動車文庫や蔵書充実のため行政に働きかけをされました。さらに宇治児童文庫連絡会とともに図書館建設の要望活動を続けて、1984年に宇治市中央図書館が開館。その折の市民の声を集め

「図書館とは？」というチラシには今も私達が望んでいる誰もが公平に利用できることやレファレンスサービスなどの要望が載っています。その後東宇治、西宇治の2館が開館。「市民の思いのつまった図書館」と友の会だよりも紹介しておられます。

そんな図書館に指定管理制度が導入される



という話が出て、それは困る、図書館を応援し、市民と図書館と一緒に活動しようと友の会を発足されたそうです。読書クラブ協議会の頃から長く活動されていた方々を中心によりよい図書館を求める活動としては、私達より経験のあるみなさんに出会えて、心強く思いました。

交流会ではけやきの発足の経緯、その時の京都の図書館事情、活動内容や会の運営、図書館との協働に至る歩み、ニュースレター制作の思いなどをお話しました。左京図書館に活動の足場を置きながら問題解決のために必然として京都市図書館全体の問題解決のために中央図書館にも要望や提案をしていること、試行錯誤の10年、ようやく自分たちのやっていることが見えてきた、という現状も伝えました。

宇治市中央図書館には友の会との協働で講演会や見学会があるとのこと。中でも「青空リサイクル市」で図書館の本のリサイクルをされているそうで、京都では要望しても中々実現しない活動なのでうらやましく思いました。

交流を通して、思いを同じくすることに、パワーを頂きました。宇治の会の方々からは勇気づいた、という感想も頂きました。また、自分たちの活動を客観的に見る機会にもなりました。交流会後、図書館を見学、実り多い一日となりました。（島崎）

「けやきの本棚」に宇治市図書館友の会から本の紹介を寄せて頂きました。

けやきの  
本棚 35

私の  
おすすめの本

オバケちゃん

松谷みよ子作 講談社 71年  
ある日、オバケちゃんは、森の外へ友だちを探しにいきました。そして、ある古い家の中に入ると、こうもりの子に会いました。こうもりの名はチータと言いました。オバケちゃんもチータは、仲良くあそべたのでしょうか？わたしは、オバケちゃんとチータは仲良くあそべたのでしょうか？という所がおもしろいと思いました。（下鴨小学校3年・岡田小代子）

まさかりどんが

さあた いへん

かさとし作 絵  
小峰書店 96年

まさかりどんは大きな太い木を切り倒した。集まってきたのは、よき、ちよくな、なた、のみ、きりなどの大工道具、なにができるの？次はキレイな布をはさみでチヨキチヨキ、針と糸でちくちく、すてきなドレスのでき上がり。そのまた次は、ペンチ、ドライヤー、ドリル、レンチ、ね

じ、パネ、ゼンマイが集合。なにが始まるの？ リズミカルに読んでください。（宇治市図書館友の会・金川明子）

井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法

井上ひさし文 いわさきちひろ 講談社 06年

“絵本” 憲法のこころと

“お話” 憲法ってつまりこういうこと の二つの章からなり、憲法前文と第九条、憲法の考え方や条文の内容について、小学生にも読めるようにわかりやすく書かれています。頁を繰るとに子どもや花などの豊かな表情の絵が描かれ、詩の絵本の様です。巻末に付録として日本国憲法前文が掲載されています。（宇治市図書館友の会・宇民雅子）

メイク・ア・

ウィツシュの大野さん

大野寿子著

メディアファクトリー 06年

難病のために夢をかなえられない子どもたちのお手伝いをする、それがメイク・ア・ウィツシュというボランティア団体。スタッフで著者の大野さんが綴る、ひとりひとりの子ども達の夢と携わる人々の熱く真剣な思いが融合し、かけがえのない命のときめきの一瞬を創造する、読み手の胸も熱くふるえるお話です。（左京図書館・F・Y）

今年もやります!!! えほんのひろば in きょうと 今年は2日間!!!

2011年4月23日(土) 午前12時~午後3時 会場いっぱい顔(表紙)を見せ、約400冊の選りすぐりの絵本がならびます。子どもも、おとなも、みなさんで、おひとりで、絵本をお腹いっぱい楽しんで!!

4月24日(日) 午前11時~午後3時

左京図書館(3階会議室)にて

図書館友の会 けやきの仲間になりませんか

知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ、

一人一人の世界を豊かにしてくれる場所。

それが私たちの願う図書館です。

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」立ち上げました。

図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきますか。

次のような活動をおこなっています

であいの森

左京図書館のおたのしみ会(毎月第4土曜日11:00-)に協力。絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

「赤ちゃんに絵本を」サポーター

毎週木曜日10:30~12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べたり、図書館に提案をしています。

ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者を結びけやきの活動の情報を発信しています。

事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。

各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

絵本学習会

毎月第4金曜日10:00-。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は、年会費500円をそえ下記事務局または郵便振込口座にお申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方

TEL/FAK 075-721-2625

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914番

口座名称 図書館友の会 けやき

年会費はニュースレターの印刷および郵送料の一部に充当します。

◆活動費のカンパも歓迎します。直接又は上記の振込口座をご利用下さい。

## けやき情報板

えほんのひろばinきょうと

当日のスタッフ募集

日時: 4月23日(土)午前12~午後3時

4月24日(日)午前11~午後3時

場所: 左京図書館の上階、3階会議室

当日会場で子どもたちから「よんで!」と

声がかかったら絵本を読んであげて下さい。

上記の時間内の1~2時間、子どもさん連れ

でもOK。4月10日迄にけやき事務局永井ま

で連絡ください。(FAX 075-721-2625

E-mail yakamasi\_m@yahoo.co.jp)

左京図書館の

「こども読書の日」記念事業

<おたのしみ会>

日時: 4月23日(土)午前11~12時

場所: 左京図書館の上階、3階会議室

出演: 修学院小学校PTAサークルおは

なしきらら隊、百万遍保育園、養成

保育所、鶴山保育所、錦林保育所

<吹奏楽コンサート>

日時: 4月23日(土)午後2時~

場所: 1階老人福祉センターホール

出演: 下鴨中学校吹奏楽部

<読書絵はがき>

近隣の小学校児童の作品を館内に展示

<えほんのひろばinきょうと>

上記参照ください

で欲災出がはがやと方葉事を▽が寄けこ書のたので▽  
ぜし地番急何で被も々に故襲三とせての館発作あの「  
ひいにががはき災にの表のつ月うて行活利表品る展  
届時負やれさる地、ごせ甚た十ごくき動用のが中示書  
けに担つるてのに膨冥な大大一ざだた`の場集でで館  
た手やてがおかに大福いな地日いさいぜ道にまもあで  
いに迷来`き考こなを。被震にまっでひしもり`る発  
。取惑る必衣えれ避お命害と東したすこるなまいこ表  
れがとず食るか難祈をと津北た皆ねれべりしきと会  
るか思一住日ら者り失衝波関。様。かに、たいな  
かかう本の々私のすわ撃、東(、作らもま。きどは  
(りたら。一確。が方るれは原地き)あ品もなた作と制壁  
)ちず被の保今何達とた言発方)りを統る図品し約面

編集後記

◇けやき 第35号 2011年3月24日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部

題字 高野のYさん タイトルバック 岩倉のSさん  
カット 高野のHさん

◇発行 図書館友の会 けやき

京都市左京区高野東開町1-23-26-101永井方

TEL/FAX 075-721-2625